

OBR選手各位

第138回大会 Bリーグ

第2回戦

標題について下記の通り、お知らせします。

記

去る、平成24年5月6日(日)対平野ライセンスとの試合は次の通りです。

	1	2	3	4	5	計
平野ライセンス	7	1	2	0	0	10
OBR	1	0	1	0	0	2

打	守		打席	打数	得点	安打	打点	二塁打	三塁打	本塁打	三振	四死球	犠打	盗塁	失策
1	8	西	3	3	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
2	6→1	水本貴	3	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0
3	7	レイノルド	3	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
4	4	上岡	3	3	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0
5	5	福仲	3	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
6	2	杉田一	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
7	1→6	水本廣	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	9	島村	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	3	野崎	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		控 杉田善													
		計	23	23	2	7	2	1	0	0	3	0	0	1	4

投手	回数	安打	三振	四死球	暴投	自責点
水本廣	3	8	1	1	0	3
水本貴	2	0	2	1	0	0

リベンジに燃える平野ライセンス、迎え撃てるかOBR！

前回大会でも2回戦で対戦した強豪平野ライセンス。息詰まる投手戦から両チーム譲らず、抽選によってOBRに勝利の女神が微笑む結果となりました。

本大会でリベンジを狙う平野ライセンス。一方、迎え撃つOBR。しかし、守備の要である岩本選手、主砲の加賀選手の不在で試合前から不安を抱えながら試合に臨みました。

その不安は的中。1回表からOBRは守備でミスを繰り返してしまいます。もちろん強豪チーム平野ライセンスはそれを見逃しません。OBRから試合を決定づける大量の7点を獲得します。

OBRにとっては痛すぎる7点。1回戦では長吉スターズから逆転勝利を収めましたが、7点はあまりにも重すぎる失点でした。もはや、OBRに逆転する力は残っていません。最後まで戦いましたが、結果は2対10のワンサイドゲーム。相手チームがリベンジを果たす結果となってしまいました。

一方的な試合展開でしたが、その中でもベストを尽くす選手がいました。1番の西選手は3打数3安打。2番水本貴選手は3打数2安打1盗塁、さらに途中からリリーフで登板し、相手打線を2回シャットアウト。OBRの意地を見せてくれました。

そして、今回大会で引退することが決まっていた野崎選手。試合前のミーティングや試合後の反省会でのムードメーカーとして活躍していましたが、惜しまれながらも引退です。新チームDSWを常勝集団にすべく、いばらの道へと自ら歩んで行くことになりました。お疲れ様でした。

監督はすでに次回大会を見据えて作戦を考えています。策士あつてのOBR。次回の試合も目が離せません。

※選手の皆様へ、毎試合前日には、監督、コーチ陣が集まって作戦会議を行っております。
当日参加される選手は、故障等で体調が思わしくない場合は
前々日までには連絡くださるようお願いいたします。

OBR野球部監督 杉田善久